

# 徳田の歴史ー1

## 徳田の天王さん



徳田地区



畑 地区

これは“天王さん”と、この地区で呼ばれている神様です。

大きさは約、奥行き80×横80×高さ90cmです。

現在このような天王さんの社は徳田地区に3か所、畑地区に1か所計4か所あります。昔はもっとあったと聞いています。

又社の形や大きさは多少の違いはありますが殆んど同じで民家の宅地内や畑等に祀られています。建立された詳細な時期は不明ですが江戸時代の終わり頃とも言われています。

これらの天王さんはその地域の組の人や有志の人達によって今も手厚くお守りされています。毎年7月の七夕祭りの大祭日に合わせてその地区の代表の人が交代で天王さんの本部である津島神社（愛知県津島市）にお参りに行っています。

### ●どんな神様ですか

水の神様です。徳田町は昔から米作りが盛んです。

言い伝えられているのは主に田畑に必要な水を守ってくれる神様で五穀豊穡にご利益があると言われていています。ここ徳田町には良い田んぼがたくさんありここから収穫されるお米が美味しいと言われているのもこの神様のご利益かも知れません。この他にも疫病や災難除け等にもご利益があると聞いています。

※以上はH28年6月30日徳田ふれあい会館にて地元小学校の町探検授業の一つとして社の見学及び説明会を実施済みです。

地域コーディネーター 渥美 弘